



## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月13日

上場会社名 OSJBホールディングス株式会社  
 コード番号 5912 URL <https://www.osjb.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大野 達也  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画担当 (氏名) 橋本 幸彦  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-6220-0601

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	37,592	5.6	3,030	13.3	3,081	12.6	6,272	148.8
2019年3月期第3四半期	35,584	3.7	3,494	27.5	3,524	28.5	2,520	40.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 6,498百万円 (151.3%) 2019年3月期第3四半期 2,586百万円 (19.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	52.48	
2019年3月期第3四半期	21.09	

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載をしておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	53,214	33,249	62.5	278.93
2019年3月期	46,674	27,799	59.6	232.55

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 33,249百万円 2019年3月期 27,799百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		8.00	8.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,000	9.2	3,500	15.0	3,500	16.3	6,300	95.3	52.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	122,513,391 株	2019年3月期	122,513,391 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	3,309,652 株	2019年3月期	2,971,783 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	119,510,525 株	2019年3月期3Q	119,543,166 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(1) 受注高、売上高及び受注残高の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の減速や自然災害などの影響により、輸出・生産は、製造業を中心とする企業マインドとともに弱含み傾向が続いております。一方、設備投資は企業収益が総じて高水準を維持するなかで増加傾向が続き、個人消費も、消費税率引き上げなどの影響による振れを伴いつつも、雇用・所得環境の着実な改善を背景に、緩やかに増加しており、全体として景気は緩やかに回復しております。

公共投資につきましては、横ばい圏内ながら堅調に推移しています。国の令和元年度補正予算案では、「災害からの復旧・復興と安全・安心の確保」などに係る予算措置が講じられる見込みであり、関連予算執行の効果発現と併せ、底堅く推移しております。

このような状況におきまして、当社グループ全体で受注活動に取り組んだ結果、当第3四半期連結累計期間の受注高は、建設事業、鋼構造物事業ともに前年同四半期累計期間の実績を上回る受注獲得により438億1千9百万円（前年同四半期比22.4%増）となりました。

当第3四半期連結会計期間の主要な受注は以下のとおりであります。

#### (建設事業)

- ・ニューマチックケーソン工事  
鹿島建設株式会社「思川開発導水路工事」
- ・コンクリートの新設橋梁工事  
国土交通省中部地方整備局「令和元年度 河津下田道路河津 I Cランプ橋 PC 上部工事」
- ・橋梁の補修補強工事  
熊本県熊本市「国道266号（八王寺跨線橋）橋梁下部工耐震補強その他工事」
- ・一般土木工事  
国土交通省東北地方整備局「山田地区構造物撤去工事」

#### (鋼構造物事業)

- ・鋼構造の新設橋梁工事  
大阪府「都市計画道路 十三高槻線 橋梁上部工等工事（正雀工区その1）」

売上につきましては、大きな工程の遅れもなく進捗は順調に推移しており、売上高は375億9千2百万円（前年同四半期比5.6%増）となりました。また、受注残高につきましては、上記の受注及び売上の状況により、721億3千8百万円（前年同四半期比30.3%増）となりました。

損益面では、売上総利益は60億9千3百万円（前年同四半期比4.4%減）、営業利益は30億3千万円（前年同四半期比13.3%減）、経常利益は30億8千1百万円（前年同四半期比12.6%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は62億7千2百万円（前年同四半期比148.8%増）となりました。

なお、セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 建設事業

当セグメントの売上高は338億4千7百万円（前年同四半期比6.8%増）、セグメント利益(営業利益)は32億2千4百万円（前年同四半期比10.9%減）となりました。

#### ② 鋼構造物事業

当セグメントの売上高は36億8千9百万円（前年同四半期比3.9%減）、セグメント利益(営業利益)は9千4百万円（前年同四半期比422.6%増）となりました。

#### ③ その他

太陽光発電による売電事業により、売上高は5千5百万円（前年同四半期比11.0%減）、セグメント利益(営業利益)は2千3百万円（前年同四半期比10.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は532億1千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ65億3千9百万円増加いたしました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ21.9%増加し、432億1千6百万円となりました。これは、現金及び預金が48億1百万円増加、受取手形・完成工事未収入金が5億3千8百万円増加、有価証券が10億円増加、立替金が6億1千8百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ11.0%減少し、99億9千7百万円となりました。これは、建設仮勘定が3億7千9百万円増加しましたが、土地が10億9千5百万円減少、繰延税金資産が6億5千4百万円減少したことなどによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ3.5%増加し、150億4千4百万円となりました。これは、支払手形・工事未払金が5億4千7百万円減少しましたが、未成工事受入金が11億5千5百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ13.5%増加し、49億2千万円となりました。これは、長期借入金が2億4千9百万円減少しましたが、繰延税金負債が8億2千2百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ19.6%増加し、332億4千9百万円となり、自己資本比率は62.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月14日に公表いたしました「2019年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」の業績予想数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,715	17,517
受取手形・完成工事未収入金	20,099	20,637
未成工事支出金	440	677
有価証券	—	1,000
材料貯蔵品	148	155
立替金	1,461	2,079
未収還付法人税等	160	5
その他	418	1,145
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	35,442	43,216
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	865	820
機械及び装置（純額）	2,252	1,990
土地	4,072	2,977
建設仮勘定	138	517
その他（純額）	180	168
有形固定資産合計	7,510	6,474
無形固定資産		
その他	369	582
無形固定資産合計	369	582
投資その他の資産		
投資有価証券	2,307	2,558
破産更生債権等	640	639
繰延税金資産	779	124
その他	315	306
貸倒引当金	△688	△688
投資その他の資産合計	3,352	2,940
固定資産合計	11,232	9,997
資産合計	46,674	53,214

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金	8,525	7,978
1年内償還予定の社債	50	—
1年内返済予定の長期借入金	285	285
未払金	581	979
未払法人税等	132	962
未成工事受入金	1,565	2,721
前受金	717	—
預り金	1,495	1,556
工事損失引当金	200	54
完成工事補償引当金	84	91
工場再編損失引当金	42	—
その他	860	414
流動負債合計	14,542	15,044
固定負債		
長期借入金	1,071	821
株式報酬引当金	—	15
退職給付に係る負債	3,261	3,260
繰延税金負債	—	822
固定負債合計	4,333	4,920
負債合計	18,875	19,964
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	453	459
利益剰余金	27,105	32,421
自己株式	△657	△755
株主資本合計	27,901	33,125
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	352	533
退職給付に係る調整累計額	△455	△409
その他の包括利益累計額合計	△102	123
純資産合計	27,799	33,249
負債純資産合計	46,674	53,214

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高		
完成工事高	35,584	37,592
売上原価		
完成工事原価	29,213	31,499
売上総利益		
完成工事総利益	6,370	6,093
販売費及び一般管理費	2,875	3,062
営業利益	3,494	3,030
営業外収益		
受取利息及び配当金	21	30
特許権使用料	20	27
受取損害賠償金	10	—
受取保険料	10	—
スクラップ売却益	23	18
その他	19	35
営業外収益合計	105	111
営業外費用		
支払利息	8	6
前受金保証料	20	24
支払手数料	41	8
その他	5	21
営業外費用合計	75	60
経常利益	3,524	3,081
特別利益		
固定資産売却益	4	5,904
特別利益合計	4	5,904
特別損失		
工場再編損失	—	57
特別損失合計	—	57
税金等調整前四半期純利益	3,529	8,927
法人税、住民税及び事業税	517	1,280
法人税等調整額	490	1,374
法人税等合計	1,008	2,655
四半期純利益	2,520	6,272
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,520	6,272

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	2,520	6,272
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21	180
退職給付に係る調整額	44	45
その他の包括利益合計	65	226
四半期包括利益	2,586	6,498
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,586	6,498
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月27日 定時株主総会	普通株式	717	6.00	2018年3月31日	2018年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月21日 定時株主総会	普通株式	956	8.00	2019年3月31日	2019年6月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)3	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建設事業	鋼構造物 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	31,682	3,839	35,522	62	35,584	—	35,584
セグメント間の内部売上高 又は振替高	178	165	343	—	343	△343	—
計	31,860	4,005	35,865	62	35,927	△343	35,584
セグメント利益	3,617	18	3,635	26	3,662	△167	3,494

(注)1 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△167百万円には、セグメント間取引消去27百万円、各セグメントに配賦していない全社費用△195百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費、当社(OSJBホールディングス㈱)及び連結子会社(㈱白石ホームズ)における発生費用であります。

- 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 3 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電事業であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)3	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建設事業	鋼構造物 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	33,847	3,689	37,537	55	37,592	—	37,592
セグメント間の内部売上高 又は振替高	136	143	280	—	280	△280	—
計	33,984	3,833	37,818	55	37,873	△280	37,592
セグメント利益	3,224	94	3,319	23	3,343	△313	3,030

(注)1 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△313百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各セグメントに配賦していない全社費用△312百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費、当社(OSJBホールディングス㈱)における発生費用であります。

- 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 3 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電事業であります。

3. 補足情報

(1) 受注高、売上高及び受注残高の状況

I 受注高

区 分	前第3四半期 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	増 減		前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	増減率 (%)	金 額 (百万円)
建設事業	31,437	39,350	7,913	25.2	55,271
鋼構造物事業	4,309	4,413	103	2.4	5,765
その他	62	55	△6	△11.0	76
合 計	35,808	43,819	8,011	22.4	61,112

II 売上高

区 分	前第3四半期 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	増 減		前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	増減率 (%)	金 額 (百万円)
建設事業	31,682	33,847	2,165	6.8	44,703
鋼構造物事業	3,839	3,689	△150	△3.9	5,572
その他	62	55	△6	△11.0	76
合 計	35,584	37,592	2,008	5.6	50,352

III 受注残高

区 分	前第3四半期 (2018年12月31日)	当第3四半期 (2019年12月31日)	増 減		前連結会計年度 (2019年3月31日)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	増減率 (%)	金 額 (百万円)
建設事業	49,196	65,512	16,315	33.2	60,009
鋼構造物事業	6,179	6,625	446	7.2	5,902
その他	—	—	—	—	—
合 計	55,375	72,138	16,762	30.3	65,911